



Kagoshima Bank

News Release

2026年1月30日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、畜産関連が持ち直し、消費関連は一部で持ち直し、観光関連はやや持ち直している。一方で、生産活動、投資関連は弱含み、雇用関連は弱い動きとなっている。全体として改善傾向が弱まりつつあり、今後の動きに十分注意する必要がある。

生産活動は、10月の鉱工業生産指数が3か月連続で前年を上回った。食料品は前年を下回ったものの、電子部品・デバイス、窯業・土石製品、汎用・生産用機械は前年を上回った。

畜産関連では、12月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5は前年を下回り、去勢A4は前年を上回った。豚肉は前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を上回った。鶏卵相場は前年を大幅に上回った。

個人消費関連は、11月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回り、コンビニエンスストア販売額は前年をやや上回った。一方で、12月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を下回った。

観光関連では、12月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、4か月ぶりに前年を上回った。種子島・屋久島地区は3か月連続で前年を上回り、奄美地区は3か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、前年を上回る調査対象施設が一部でみられた。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を上回った。

雇用情勢は、11月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.00倍となった。

【生産活動】... 弱含み

電子部品関連は、EV向けや5G関連の需要が回復していない。一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、価格競争の激化や買い替えサイクルの長期化などにより、回復の時期が見通しづらい状況である。

11月の焼酎生産は、11か月連続で前年を下回った。芋焼酎がビール、ハイボールなど他の酒類との競争で苦戦しており、出荷量は12か月連続で前年を下回った。

10月のかつお節生産は、8か月ぶりに前年を下回った。

12月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが6か月連続で前年を下回り、民間工事向けは4か月連続で前年を下回り、全体では23か月連続で前年を下回った。

12月の紙パルプ生産は、2か月連続で前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

【畜産関連】... 持ち直し

12月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。12月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が3か月ぶりに前年を下回り、去勢A4が11か月連続で前年を上回った。11月の枝肉生産量は前年を下回った。

12月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、8.9%減と2か月ぶりに前年を下回った。

11月の枝肉生産量は前年を下回った。

12月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は5.1%増と15か月連続で前年を上回り、むね肉は31.0%増と15か月連続で前年を上回った。12月の処理羽数は前年を上回った。

12月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、全国的な鳥インフルエンザの影響により19.0%増と前年を大幅に上回った。11月の配合飼料価格は前年をやや上回った。

【消費関連】... 一部で持ち直し

11月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回り、全体では2か月連続で前年を上回った。

11月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストアが前年を上回り、コンビニエンスストアは前年をやや上回った。

12月の乗用車新車登録台数は、6か月連続で前年を下回った。車種別にみると、

普通車は 18.3% 減、小型車が 19.2% 増となった。12 月の軽自動車届出台数は 2 か月連続で前年を下回った。

【観光関連】... やや持ち直し

12 月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は 4 か月ぶりに前年を上回った。県の宿泊支援や海外のゴルフ需要を背景に、九州、韓国からの入り込みや個人客が増加した。

鹿児島地区は、九州や韓国からの入り込みや個人客が増加し、2 か月ぶりに前年を上回った。

霧島地区は、個人客が増加し、8 か月ぶりに前年を上回った。

指宿地区は、韓国からの入り込みや個人客が増加し、7 か月ぶりに前年を上回った。

種子島・屋久島地区は 3 か月連続で前年を上回り、奄美地区は 3 か月連続で前年を下回った。

12 月の主要観光施設入場者数は、前年を上回る調査対象施設が一部でみられた。

【投資関連】... 弱含み

12 月の公共工事は、件数は前年を下回り、請負金額は前年を上回った。

11 月の民間建築工事着工は、棟数は前年を下回り、床面積、工事費予定額は前年を上回った。

11 月の新設住宅着工戸数は、前年を上回り、12.0% 増となった。持家、貸家が前年を大幅に下回ったものの、分譲が前年を大幅に上回った。3 カ月移動平均は前年を下回り、5.8% 減となった。

12 月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2 か月連続で前年を下回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を上回った

11 月の輸出額は、パルプ及び古紙が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回り、全体では 8.7% 増と 4 か月連続で前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品が前年を下回ったものの、原油及び粗油が前年を上回り、全体で 34.6% 増と 10 か月ぶりに前年を上回った。

【雇用情勢】… 弱い動き

11月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.00倍となった。県内求人を業種別にみると、製造業、卸小売は前年を上回り、建設業、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】… 貸出金残高は前年を上回った

10月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.0%上回った。

【企業倒産】… 倒産件数は前年を下回った

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が4件で前年同月（6件）を12か月ぶりに下回った。また、負債総額は2億86百万円で前年同月（5億19百万円）を下回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 株九州経済研究所（TEL 099-225-7491）